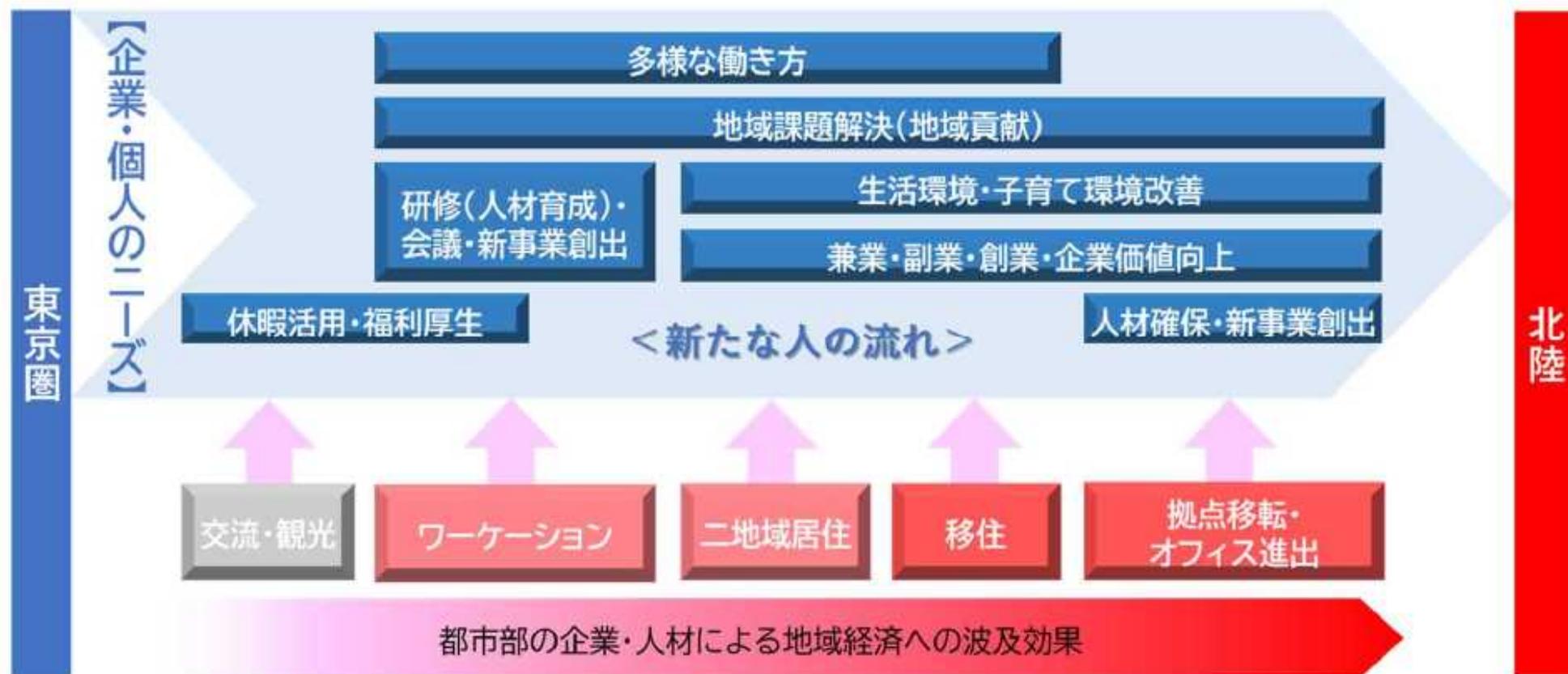


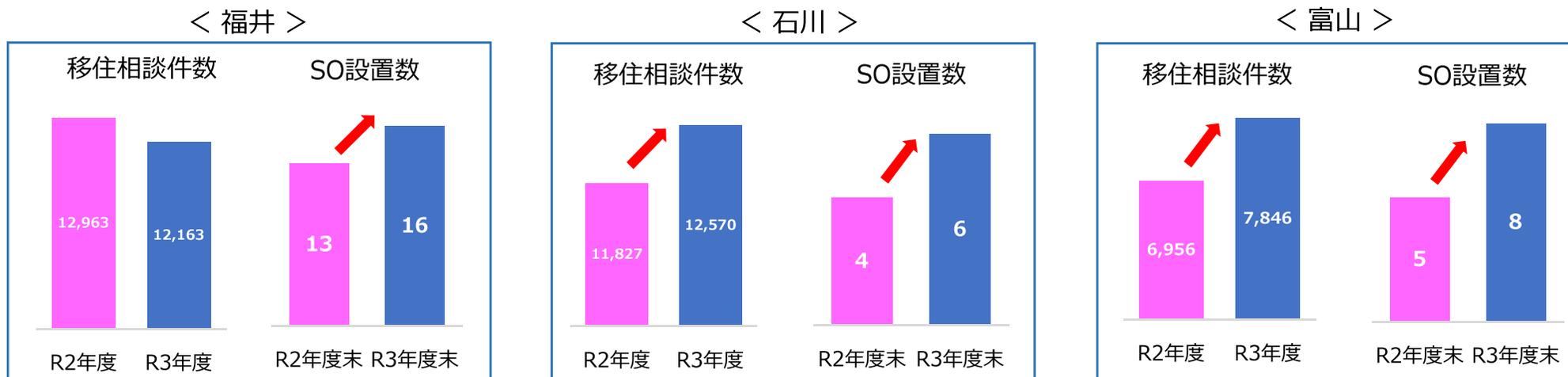
「北陸地域における新たな人の流れの創出」に係る現状等について ～フォローアップ～



令和 5 年 5 月
北 陸 財 務 局

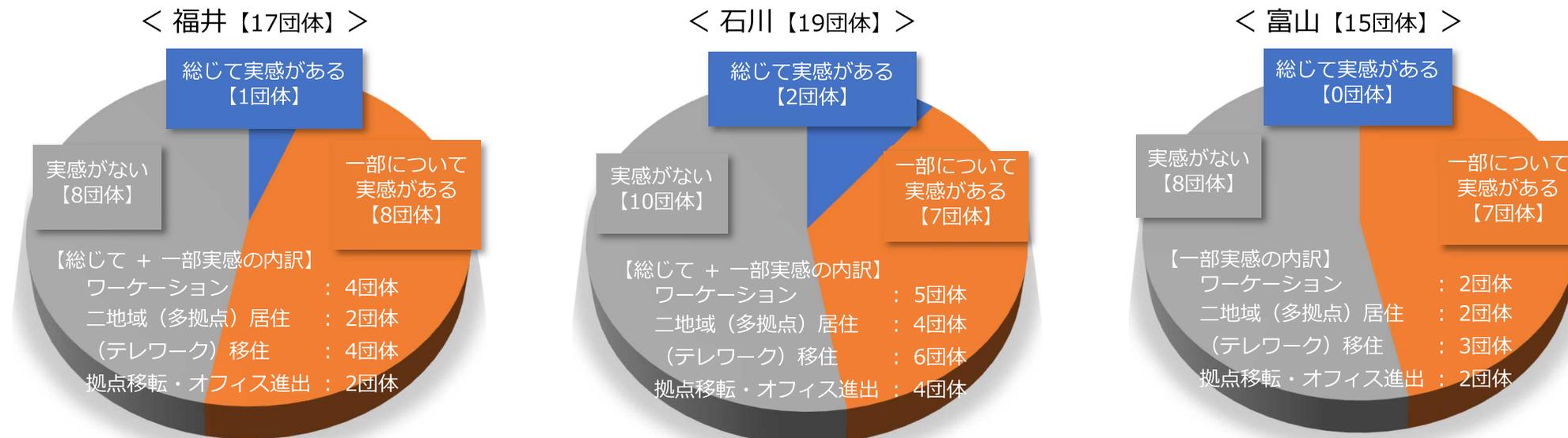
「新たな人の流れ」に係る動き・自治体における実感等

【北陸3県における移住相談件数・サテライトオフィス(SO)設置数の推移】



【出所】 移住相談件数：総務省「令和2・3年度における移住相談に関する調査結果」、SO設置数：総務省「地方公共団体が誘致又は関与したサテライトオフィスの開設状況調査」

【北陸地域の基礎自治体（51市町村）における「新たな人の流れ」に係る実感等】



＜参考：県における実感等＞

➢ 3県いずれも「一部について実感がある」（内訳…ワーケーション：2県、（テレワーク）移住：2県、拠点移転・オフィス進出：2県）

【出所】 R5.3北陸財務局調べ：令和4年度の「新たな人の流れ」に係る実感等（移住、（サテライト）オフィス等に係る実績や関係人口などの「定量的な指標」や「主な取組の成果」等により判断）について管内自治体へ確認

人を呼び込むための特徴的な取組事例（実感確認時等に把握できた主な事例）

関係人口創出及び移住等推進に係る面的な取組 （能登地域移住交流協議会）【七尾市・羽咋市・中能登町】

- ⦿ 持続可能なまちづくりを目指すにあたり、単独（点）での取組から複数の市町の連携による面的な取組へ発展的に転換すべく、3市町が連携し、「能登地域移住交流協議会」を設立（R3.3）
- ⦿ 共通移住情報ポータルサイト「のと住。」や協議会の公式LINEの開設をはじめ、関係人口創出及び移住等推進に係る様々な取組を実施



海あり、山あり、温もりあり

【保育園留学（※）の取組もスタート（R5.3～）】

（※）2週間ほど子どもが保育園に通いながら家族で滞在でき、連携宿泊施設が利用できる暮らし体験

* 地域協議会での取組は全国初

- 地域のブランド化、地域経済への波及、賑わい創出も目指す！



産業観光を通じた持続可能な地域づくりの取組 （一般社団法人SOE）【鯖江市・越前市・越前町】

- ⦿ 7つの伝統産業が集積する面的エリアにおいて、有志で実行委員会を構成し、大規模な産業観光イベント「RENEW」を継続開催（H27～）
- ⦿ 同委員会が、取組をステップアップさせるべく、一般社団法人SOE（ソエ）を設立（R4.7）し、「RENEW」の運営に加え、通年体験可能な産業観光コンテンツ、工芸体験可能な宿泊施設、人材育成スクール、産業観光メディアの開発・運営等の展開を図る



【宿事業や産地PR事業などの取組も実施】

- 産業観光を通じて 移住を含む新たな人の流れや循環を創出し 持続可能な地域をつくることを目指す！

北陸新幹線敦賀開業を契機として産官金連携により 事業者等の進出を促進する取組【敦賀市】

- ⦿ 北陸新幹線敦賀開業における誘客の玄関口である駅西地区（再開発）、受け皿となる集客施設（交流施設等）、動線となるシンボルロード（アーケード商店街）といった象徴的なエリアの脱炭素化を推進
- ⦿ 加えて、電力事業者、地域金融機関と「脱炭素マネジメントチーム」を結成の上、環境意識の高い事業者等の投資・進出に対する融資・補助一体型支援などを実施し、脱炭素化を志向する事業者等の集積を図る



【北陸初の脱炭素先行地域の選定（R4.11）】

- DXサービス担い手企業とワーケーション進出等も含め協議中。新しいサービスや雇用の創出も目指す！

デジタル技術を活用した関係人口創出の取組 （e-加賀市民制度）【加賀市】

- ⦿ 観光やワーケーションなどでの来訪（関係人口）創出を目的に、市民・市民以外のカテゴリに加えて、新たに電子市民「e-加賀市民」を創設し、様々な行政サービスを提供する仕組構築を図る
- ⦿ 「e-加賀市民」は、専用サイトを通じてデジタル市民証を取得し、専用コミュニティ、乗合タクシー、ワーケーションサービスなどを利用



【先駆的な電子市民制度の取組（R5～）】

- 将来的な移住増加及び、移住者の事業展開による産業集積の実現を目指す！

デジタル田園都市国家構想総合戦略 ～ 人の流れをつくる ～



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

デジタル田園都市国家構想総合戦略【R4.12.23閣議決定】－抜粋

(地方と国の役割分担と施策間・地域間連携の強化)

地域においては、それぞれが抱える社会課題について、地方公共団体を中心として十分に議論、認識した上で、その解決を図っていくため、自らの地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を描き、デジタル技術を活用しつつ、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくるという4つの取組を進めていくことが求められる。このため、地方公共団体は総合戦略を勘案し、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂するよう努め、具体的な地方活性化の取組を果敢に推進するものとする。その際には、社会課題の解決を効果的・効率的に推進するため、地域経済分析システム、地域経済循環分析等の地域経済に関するデータを活用し、エビデンスに基づいた政策を企画立案（EBPM）するほか、共通する社会課題を抱える地域においては、デジタルの力も活用しながら、地方公共団体の枠組みを越えた地域間の連携を推進していくことが重要である。

～

人の流れをつくる

都会から地方への人の流れを生み出し、地方から流出しようとする人を食い止め、にぎわいの創出や地域を支える担い手の確保を図ります。



主な施策

- ☑ 「転職なき移住」の推進など地方への人材の還流
地方創生に資するテレワークの推進、企業版ふるさと納税等を活用したサテライトオフィスの整備等を推進します。
- ☑ 関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進
オンライン関係人口の創出・拡大、地方への移住・就業に対する支援、二地域居住等を推進します。
- ☑ 地方大学・高校の魅力向上
地方大学の振興、地方へのサテライトキャンパスの設置、産学官の連携による地域産業の振興・雇用の創出、高校の機能強化等を推進します。
- ☑ 女性に選ばれる地域づくり
女性活躍に向けた意識改革や働きかけ、女性の起業支援などの取組の横展開等を推進します。

【デジタル田園都市国家構想実現会議事務局ウェブサイトより】

- 地方版総合戦略の改訂や、当該改訂における「人の流れをつくる」施策の動向に注視しつつ、必要に応じ、サポートを実施！
- より面的な取組、北陸新幹線敦賀開業を契機とした取組、デジタル技術を効果的に活用した取組などを通じた北陸地域全体への拡がりに期待！